

平成30年度

事業報告書



社会福祉法人

鵜川慶寿会

目 次

1	社会福祉法人鵜川慶寿会総括事業報告	1
	(1) 適正な財務管理の推進と情報公開	1
	(2) 人財確保と育成	1
	(3) リスクマネジメントと災害時の協力体制	2
	(4) 地域貢献事業の実施	2
	(5) むかわ町高齢者生活交流センター「ひだまりの里」の受託運営	3
2	法人本部事業報告	4
	(1) 事業経過報告	4
	(2) 職員の採用、異動及び退職	5
	(3) 職員の保有資格等の状況	7
	(4) 理事会開催状況	8
	(5) 評議員会開催状況	10
	(6) 監事監査の実施状況	10
	(7) 第三者委員会の開催状況	10
	(8) 評議員選任・解任委員会の開催状況	10
	(9) 入居討委員会の開催状況	11
	(10) 役員研修の実施状況	11
	(11) ストレスチェックの実施	11
3	胆振東部鵜川慶寿苑事業報告	12
	(1) 事業内容報告	12
	(2) 管理職会議・運営会議開催報告	14
	(3) 外部研修会の参加状況報告	14
	(4) 防災体制と危機管理体制	15
	(5) 苦情処理状況と事故発生状況	15
	(6) 主な施設整備状況	16
	(7) 利用者の構成とその状況	17
	(8) 在宅サービスの状況	19
	(9) ボランティアの受入状況	20
	(10) 施設見学・実習生等の受入と福祉教育	20
4	むかわ町高齢者生活交流センター「ひだまりの里」事業報告	21
	(1) むかわ町高齢者グループホームふきのとう事業報告	21
	(2) 高齢者共同生活住宅こごみ荘事業報告	26

1 社会福祉法人鶴川慶寿会総括事業報告

平成30年度は、9月6日午前3時8分に発生した北海道胆振東部地震により、特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑（以下「特養」という）において建物・設備・外構等に多大な被害を受けました。特養・むかわ町高齢者グループホームふきのとう（以下「ふきのとう」という）・高齢者共同生活住宅ごごみ荘（以下「ごごみ荘」という）の利用者・入居者の方々にけが等人的被害が無かったことは、不幸中の幸いといえます。地震発生直後から多くの職員が駆けつけ初期対応にあたってくれました。余震が続き不安と恐怖のなか、利用者の生活・安全を第一に対処してくれた全ての職員に感謝と敬意を表します。

復旧にあたっては、社会福祉施設等災害復旧費国庫補助及び社会福祉施設等設備災害復旧費補助金を申請し早期復旧に向け法人本部の建設積立資産を取崩し、取り組んで参りましたが、すべてを年度内で終了することができず一部次年度へ繰り越しとなりました。

被害額は約4,950万円となり、内補助金見込額は約3,855万円ですが、自己負担分として約1,095万円が必要となっています。今決算内で全てが完了していませんが、次年度補助金が入金されましたら、取り崩した建設積立資産への繰戻しを行います。引き続き早期復旧に向け全力で取り組んで参ります。

慢性的な人財不足により、特に特養においては、経営に大きく影響を与えました。次年度以降においても人財確保を最重要課題として取り組んでいく必要があります。

平成30年度鶴川慶寿会の重点的な取組に掲げた以下の点について検証します。

（1）適正な財務管理の推進と情報公開

北海道胆振東部地震による復旧事業については補助金申請を行っていますが、早期復旧に向け、法人本部の建設積立資産を取崩し、特養へ繰入を行い、施工業者に対し速やかな支払いができるように準備するとともに、稼働率の低下による収支状況の悪化の補填に対処しました。

特養においては、入院者・退所者の増加に加え、慢性的な人財不足及び介護職員の傷病による長期休暇取得者の増加により定員を満たすことができず、稼働率79.24%となり過去最低を記録しました。介護報酬が大幅に減収し、人財不足により人件費が減少したものの収支差額はマイナスとなり赤字経営となりました。

一方で、待機者は増加傾向にあり経営改善には人財確保が不可欠であり、早期に正常化を図り、空きベッドの解消とショートステイの利用促進を図ることがこれからの経営を左右する大きな課題となります。

情報公開については、ホームページを活用し計算書類及び財産目録、定款、役員報酬規程、現況報告書等は、もとより法人・施設の広報誌、求人情報、行事予定等について、情報発信を行うことができました。引き続き内容の充実を図って参ります。

（2）人財確保と育成

慢性的な人財不足により、2～3年前からの退職者の補充が出来ず、定員を満たすことができない状況が更に悪化しました。引き続き多様な求人・募集形態を活用するとともに、企業説明会、施設見学会等、新たな取組をスタートさせ新卒者、第二新卒者の採用及び中途採用による人財確保強化を図ります。

平成30年度は、「職務能力向上支援規程」に基づき、喀痰吸引等50時間研修へ2名の職員を派遣し、喀痰吸引等施設内実地研修を行い、1名が北海道知事より認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けました。資格取得の結果は、介護支援専門員実務研修受講試験に1名が合格し、介護福祉士国家試験には2名が合格しました。また、1名が認知症介護実践リーダー研修を修了しました。

「奨学金貸与規程」に基づく奨学生の希望者はありませんでしたが、地元高校は勿論のこと近隣高校の進路指導部に対し働きかけを行い、希望者確保に努めます。一方で、働きながら介護福祉士取得を目指す方への支援として、むかわ町の助成制度を活用しながら実務者研修の受講促進と受講支援を引き続き行います。

(3) リスクマネジメントと災害時の協力体制

平成30年度は、所轄庁へ報告を要する事故が特養で4件（全て骨折）発生しました。ふきのとうにおいては、事故はありませんでした。ヒヤリ・ハット、事故の事例を分析し危険予知能力向上を図るとともにセンサー等の介護ロボット・ICT機器の活用により事故防止に努めて参ります。

経営面でのリスクとして、6カ月以上の利用料金の滞納が特養、ふきのとうでそれぞれ1件あり、むかわ町地域包括支援センターとも協議しながら回収に向け督促・話し合いを行い、全額回収の目処が立ちました。

災害リスク面においては、昨年9月6日午前3時8分発生の北海道胆振東部地震により、特養の建物・設備・外構等に多大な被害を受けました。幸いにして利用者の方々にも人的被害はなかったものの自然災害の恐ろしさを目の当たりに痛感しました。

地震発生から2日後には電気が復旧しましたが、ガス設備の損傷により食事提供及び洗濯業務に支障をきたしました。ガスボンベを施設内へ持ち込み大型コンロ2台による炊き出し状態での食事提供が3週間続きました。また、洗濯業務においては、社会福祉法人愛誠会ほべつ誠和のクリーニング部門が引き受けてくれました。ふきのとうにおいては避難することなくホーム内で対応することができましたが、こごみ荘においては、1週間避難所へ避難していただきました。

特養も落ち着きを取り戻したなか、「胆振東部社会福祉施設における災害時の協力協定」に基づき、甚大な被害を受け他施設で避難生活を続けている北海道厚真福祉会特別養護老人ホーム豊厚園の利用者10名と職員9名を10月30日から順次受入させていただきました。

災害は何時起こるかわかりません。日胆地区老人福祉施設協議会加盟施設による災害時応援協定書並びに胆振東部社会福祉施設における災害時の協力協定による被災施設等への支援が迅速かつ円滑に行えるよう努めます。また、法人事業所間での支援体制についても、自治会・町内会のご理解をいただきながら、防災訓練、運営推進会議、運営懇談会等を通して災害時の協力・支援のお願いを周知して参ります。今回の被災に際し、お取引先様をはじめ、関係機関、諸団体、他施設、ご家族様等から心温まるご支援をいただき感謝申し上げます。

(4) 地域貢献事業の実施

1. 認知症キッズサポーター養成講座への講師派遣

高齢化が進み認知症の方が増加していることから、子どもたちに高齢者や認知症の理解を深め、地域で温かく見守り、応援してくれることを願い、むかわ町が開催しました。

※派遣者：胆振東部鶴川慶寿苑 業務係長介護支援専門員 小原由貴子
業務副主任生活相談員 日野雄太

月 日	開催校	参加人数	備 考	派遣職員
1 2月 2 1日 (金)	鶴川中央小学校	1 5名	5年生、教諭3名	日野雄太
1月 2 9日 (火)	宮戸小学校	6名	5, 6年生5名、教諭1名	小原由貴子

※参加者は、認知症サポーターとして認定され、「オレンジリング」が贈呈されました。

2. 介護講座の開催

鶴川高校進路指導部と連携し、「介護や社会福祉についての理解を深め、高校生の知識としての福祉の理解を深めるとともに、進路に向けての視野を広げる機会とする」ことを目的に、前年度に引き続き、認知症サポーター養成講座を2月4日(月)14:50～15:40、7日(木)14:10～14:55の両日鶴川高校にてグローバルコースの2年生を対象にチャレンジスタディⅡとして行いました。(生徒12名。教諭3名の参加)

講師として、業務副主任生活相談員 日野雄太を派遣しました。

「チャレンジスタディ」は、生徒の進路希望などに応じ、主に大学進学を目指す「アドバンストコース」、主にスポーツや芸術などの能力を伸ばす「スポーツ・アートコース」、主に就職するために必要な知識や技能を学ぶ「グローバルコース」の中から1つを選び、テーマ別のグループ学習を行う科目です。

認知症サポーターとは、「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症の人の事を知って、認知症や家族を温かい目で見守る人の事です。「何か特別なこと」をする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方や家族に対して温かい目で見守る「応援者」です。

参加者は、認知症サポーターとして認定され、「オレンジリング」が贈呈されました。

3. 特養における低所得者、生活困窮者に対する利用者負担の軽減事業の実施

対象者11名に対し、722,570円の軽減を実施しました。その対象経費に対しむかわ町より102,000円の助成を受けました。

4. むかわ町社会福祉協議会の「ふれあい広場」開催にあたり職員を派遣し、焼き鳥コーナーを担当しました。

5. 毎年恒例の「慶寿苑盆踊り」をボランティア、家族会の皆様等の協力をいただき、夏の風物盆踊りをはじめ、模擬店、スイカ割り、歌謡ショー等の夏祭りを行いました。地域住民の皆様等多数の参加をいただきました。

(5) むかわ町高齢者生活交流センター「ひだまりの里」の受託運営

高齢者共同生活住宅「こごみ荘」「交流広場」、むかわ町高齢者グループホーム「ふきのとう」について、むかわ町より令和9年3月31日まで指定管理者の指定を受けています。

こごみ荘、ふきのとうに入居されている方については、要介護状態の悪化等により「ふきのとう」「特養」へ、必要に応じた住み替えに配慮しています。

交流広場(旧田浦小学校体育館)については、町民体育館が震災により使用できないことから、むかわ町教育委員会の要請により、スポーツ団体の使用について配慮しています。

2 法人本部事業報告

(1) 事業経過報告

年月日	事業内容	摘要
H30. 4. 2	平成30年度辞令交付式(胆振東部鶴川慶寿苑)	理事長
H30. 4. 17	新任職員歓迎会、役職員及びボランティア合同交流会	四季の館74名
H30. 4. 27	小坂議長、中島副議長来苑	理事長、山口
H30. 5. 15	第1回監事監査(胆振東部鶴川慶寿苑事務室)	伊東、丹治、理事長
H30. 5. 24	平成30年度第1回理事会	慶寿苑サンルーム
H30. 6. 2	慶寿苑家族会総会	理事長
H30. 6. 8	平成30年度定時評議員会	産業会館3階青年研修室
H30. 6. 15	入居検討委員会	理事長
H30. 6. 20	ふきのとう運営推進会議	理事長、委員、家族
H30. 6. 24	関係者葬儀(大野商店)	理事長
H30. 6. 29	慶寿苑芸能大会	理事長
H30. 7. 2	辞令交付	理事長
H30. 7. 6	慶寿苑へマジシャン坂本一魔氏来苑	理事長
H30. 7. 20	自民党移動政調会	理事長、山口
H30. 8. 10	慶寿苑盆踊り	理事長、田中、石田、山谷、竹中町長、小坂議長、金谷、北央信組支店長
H30. 8. 21	ふきのとう運営推進会議	理事長、委員、家族
H30. 8. 22	第2回監事監査(胆振東部鶴川慶寿苑事務室)	伊東、丹治、理事長
H30. 9. 3	平成30年度社会福祉法人ブロック研修会(札幌)	理事長、田中、石田、伊東、山口、光成
H30. 9. 15	日本都市設計より3名来苑(建物調査)	山口、光成
H30. 9. 26	平成30年度第2回理事会	慶寿苑癒しの間
H30. 9. 30	北海道保健福祉部より2名来苑	施設運営指導課長篁氏、主幹吉野氏、山口
H30. 10. 2	函館馬主協会車両助成に係る監査	理事長、山口、光成
H30. 10. 5	愛誠会にて震災被害状況に係る協議	堀井学氏、長谷川岳氏、神戸典臣氏、竹中町長、小坂議長、厚労省、北海道厚生局、北海道外関係者、理事長、山口
H30. 10. 11	災害復旧国庫補助に係る協議に関する打合せ(当施設)	北海道厚生局小島課長、北海道保健福祉部秋田主幹、振興局武岡課長、池田主査、山口
H30. 10. 30	平成30年度第3回理事会	慶寿苑癒しの間
H30. 11. 26	グループホームふきのとう運営推進会議	理事長、委員、家族
H30. 11. 17	第3回監事監査(胆振東部鶴川慶寿苑)	理事長、伊東、丹治
H30. 12. 10	愛誠会明石事務局長、竿崎総務課長来苑	山口
H30. 12. 18	こごみ荘、ふきのとうクリスマス会(保育園児お遊戯)	理事長
H30. 12. 18	グループホームふきのとう運営推進会議	理事長、委員、家族
H30. 12. 20	災害復旧国庫補助に係る査定(役場)	理事長、山口、光成、相互建設：小松社長、大西部長

H30.12.25	愛誠会明石事務局長、竿崎総務課長来苑	山口
H30.12.27	むかわ町議会年末挨拶来苑（小坂議長、中島副議長、八木事務局長）	理事長、山口
H30.12.27	町内関係機関挨拶回り（むかわ町、教育委員会、議会事務局、厚生病院、町社協、愛誠会）	理事長、山口
H30.12.28	胆振総合振興局社会福祉課若月主査来苑	山口
H31.1.1	新年会（慶寿苑、ごごみ荘、ふきのとう）	山口
H31.1.6	新年交礼会（四季の館）	山口
H31.1.18	第三者委員会議	理事長、伊東、山谷委員、加藤委員、山口、野宮
H31.1.18	平成30年度第4回理事会	むかわ町産業会館2階第2会議室
H31.2.20	第4回監事監査（胆振東部鶴川慶寿苑）	理事長、伊東、丹治
H31.2.26	臨時評議員会	むかわ町産業会館3階青年研修室
H31.2.26	平成30年度第5回理事会	むかわ町産業会館3階青年研修室
H31.3.12	評議員選任・解任委員会（胆振東部鶴川慶寿苑）	理事長、山口、伊東、丹治、野宮、松岡、野木
H31.3.12	入居検討委員会（胆振東部鶴川慶寿苑）	理事長
H31.3.16	ごごみ荘運営懇談会	理事長
H31.3.16	グループホームふきのとう運営推進会議	理事長、委員、家族
H31.3.27	平成30年度第6回理事会	慶寿苑サンルーム

（２）職員の採用、異動及び退職

1. 採用

特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑

	年	月	日	氏名	職種（職名）	居住地	出身校・職歴等	形態
1	30	4	1	佐藤愛	介護福祉士	日高町	北海道介護福祉学校卒業	常勤
2	30	4	1	伊勢春音	臨時介護士	厚真町	厚真高校卒業	常勤
3	30	4	1	武部智哉	臨時介護士	苫小牧市	鶴川高校卒業	常勤
4	30	4	1	辻なみ	臨時介護補助員	日高町	ディサービス夢の杜	非常勤
5	30	5	1	名須川千尋	管理栄養士	伊達市	福) 陵雲厚生会なごみの里	常勤
6	30	6	11	谷川澄子	臨時介護士	日高町	元職員、Aコープセレス	常勤
7	30	7	1	菅原トキ子	臨時調理員	日高町	ディサービス紅の華	非常勤
8	30	8	20	川浪渚	臨時調理員	むかわ町	日清医療食品株式会社	常勤
9	30	9	1	清水由美子	臨時調理員	日高町	自営業	非常勤
10	30	12	1	古本桜	看護師	日高町	医療法人 王子総合病院	常勤
11	31	1	7	澤田敏子	臨時介護補助員	むかわ町	むかわ文化学園	非常勤
12	31	3	1	開米裕也	看護師	苫小牧市	社医) 友愛会恵愛病院	常勤

グループホームふきのとう

	年	月	日	氏名	職種（職名）	居住地	出身校・職歴等	形態
1	30	4	1	澤真莉奈	臨時介護士	むかわ町	鶴川高校卒業	常勤
2	30	4	9	高木育子	臨時介護士	むかわ町	元職員	非常勤
3	30	10	26	佐々木聡子	臨時介護士	むかわ町	放課後子どもセンター	非常勤
4	31	1	22	前田ウメ子	臨時介護福祉士	むかわ町	GHほのぼの音羽	非常勤
5	31	2	5	今美智子	臨時介護士	苫小牧市	元特養職員	非常勤

2. 異動

	年	月	日	氏名	備考
1	30	4	1	桜井利恵子	慶寿苑 介護福祉士から ふきのとう 介護福祉士へ
2	30	10	19	佐藤希	慶寿苑 臨時介護福祉士から ふきのとう 臨時介護福祉士へ
3	30	11	1	菅原トキ子	慶寿苑 臨時調理員から 慶寿苑 臨時介護補助員へ

3. 退職

特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑

	年	月	日	氏名	職種（職名）	備考
1	30	5	31		臨時調理員	私事
2	30	5	31		臨時介護福祉士	私事
3	30	7	31		臨時調理師	私事
4	30	8	31		看護師係長	私事・転居
5	30	9	20		臨時介護士	私事
6	30	10	24		臨時介護補助員	私事・転居
7	31	3	31		臨時介護士	私事
8	31	3	31		看護師	私事

グループホームふきのとう

	年	月	日	氏名	職種（職名）	備考
1	30	4	30		介護福祉士	私事
2	30	5	31		臨時介護士	私事
3	30	10	31		管理者兼計画作成担当者兼介護士	私事
4	30	10	31		嘱託看護師兼介護士	私事
5	31	3	31		臨時介護士	私事

(3) 職員の保有資格等の状況

平成31年3月31日現在

資格及び修了講習等	慶寿苑	ふきのとう	ごごみ荘	計
社会福祉士	1			1
介護福祉士	28	5		33
介護支援専門員	4	2		6
看護師	2			2
准看護師	5			5
管理栄養士	3			3
調理師	3			3
ヘルパー1級	1			1
ヘルパー2級、介護職員初任者研修	3	1		4
介護職員実務者研修	2			2
認知症対応型サービス事業開設者研修	1			1
認知症介護実践者研修	6	2		8
認知症対応型サービス事業管理者研修	3	1		4
認知症介護リーダー研修	3			3
認定調査員研修	4	1		5
認定特定行為従事者（経過措置14時間研修）	10	3		13
認定特定行為従事者（50時間研修）	4			4
認知症ケア専門士		1		1
甲種防火管理者	7	1		8
危険物取扱者乙種4類	1			1
雇用管理責任者講習	1			1
第一種衛生管理者	2			2
第二種衛生管理者	2			2
地域密着型外部評価調査員	1			1
介護サービス情報公表に係る調査員	1			1
ふまねっと3級インストラクター講習		3		3
キャラバン・メイト	4			4

(4) 理事会開催状況

期日	会場	理事会	主 な 議 題
30.05.24	胆振東部鵜 川慶寿苑 サンルーム	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに施設運営状況報告について ・監事監査報告について ・人事関係報告について ・平成29年度事業報告並びに収支決算報告について ・平成29年度決算に係る社会福祉充実残額の算定について ・監事監査報告(決算報告)について ・平成30年度定時評議員会の日時及び会場について ・平成30年度定時評議員会の議案について ・人事考課規程の一部改正(案)について ・法人設立40周年について
30.09.26	胆振東部鵜 川慶寿苑 癒しの間	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年北海道胆振東部地震による被害状況等の報告について(現場確認含む) ・理事長の業務執行状況報告について ・監事監査報告について ・人事関係報告について ・利用状況及び予算執行状況について ・平成30年9月11日実施予定であった平成30年度社会福祉施設、介護保険施設等に係る指導監査・実地指導について ・平成30年北海道胆振東部地震における災害復旧費国庫補助の協議等について ・グループホームふきのとう重要事項説明書の一部改正(案)について
30.10.30	胆振東部鵜 川慶寿苑 癒しの間	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに事業所の運営状況報告について ・予算執行状況について ・北海道胆振東部地震による被害の復旧状況について ・北海道厚真福祉会(特養)豊厚園利用者の受入れについて ・人事関係報告について ・グループホームふきのとう管理者の選任について ・グループホームふきのとう重要事項説明書の一部改正(案)について ・グループホームふきのとう運営規程の一部改正(案)について
31.01.18	むかわ町 産業会館 2階第2会議室	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員会報告について ・予算執行状況について ・監事監査報告について ・理事長専決処分報告について ・北海道胆振東部地震に伴う社会福祉施設等災害復旧費国庫補助

			<p>に係る査定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月豪雨及び平成30年胆振東部地震に係る社会福祉施設等設備災害復旧補助金申請について ・豊厚園の利用者について ・平成30年度第1回補正予算書(案)について ・評議員会の開催について ・施設運営について(特養及びひだまりの里)
31.02.26	むかわ町 産業会館 3階青年研修室	第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに事業所の運営状況報告について ・監事監査報告について ・人事関係報告について ・理事長の業務執行状況報告について ・育児休業等に関する施行規則・就業規則・給与規程の一部改正(案)について ・評議員候補者の選任について ・3月理事会の日程について ・臨時評議員会において報告の施設の経営・運営状況について
31.03.27	胆振東部鵒 川慶寿苑 サンルーム	第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年北海道胆振東部地震に係る社会福祉施設等の災害復旧費国庫補助事業の進捗状況及び復旧事業の繰越見込状況の報告及び国庫申請について ・平成30年北海道胆振東部地震に係る社会福祉施設等設備災害復旧費補助金の内示と補助金申請について ・平成30年北海道胆振東部地震に係る関係団体等からの見舞金等の受入れ状況について ・平成31年度ひだまりの里管理委託料の協議結果について ・ごみ荘体育館の利用について(依頼) ・人事関係報告について ・評議員の委嘱について ・グループホームふきのとう重要事項説明書の一部改正(案)について ・介護記録システムのクラウドへの移行について ・平成30年度第2回補正予算書(案)について ・平成31年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について ・第三者委員及び入居検討委員会委員の選任について ・職務能力向上支援規程の一部改正(案)について ・平成31年度鵒川慶寿会新任職員歓迎会、役職員、ボランティア合同交流会について ・平成31年度第1回理事会、平成31年度定時評議員会の日程について ・役員改選について

(5) 評議員会開催状況

期日	会場	評議員会	主 な 議 題
30.06.08	むかわ町 産業会館 3階青年研 修室	定時	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告について 平成29年度決算報告について（計算書類、財産目録の承認） 平成29年度決算に係る社会福祉充実残額の算定について 監事監査報告（決算監査）について 資産総額の変更登記について 平成30年度事業計画書及び収支予算書について
31.02.26	むかわ町 産業会館 3階青年研 修室	臨時	<ul style="list-style-type: none"> 北海道胆振東部地震による被害状況について 施設の経営、運営状況について

(6) 監事監査の実施状況

期日	会場	回	監 査 実 施 項 目
30.05.15	鶴川慶寿苑 事務室	第1回	定款、諸規程、役員、予算、決算、資産管理、会計経理、理事会・評議員会、施設管理、人事管理、利用者預り金、その他
30.08.22	鶴川慶寿苑 事務室	第2回	会計経理、理事会・評議員会、施設管理、利用者預り金
30.11.27	鶴川慶寿苑 ホール	第3回	資産管理、会計経理、理事会・評議員会、施設管理、人事管理、利用者預り金
31.02.20	鶴川慶寿苑 ホール	第4回	予算、資産管理、会計経理、理事会・評議員会、施設管理、人事管理、利用者預り金

(7) 第三者委員会の開催状況

期日	会場	主 な 議 題
31.01.18	むかわ町産業会館 2階第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> 相談、苦情の受付け状況及び利用者の事故等について 利用者の事故等について

(8) 評議員選任・解任委員会の開催状況

期日	会場	主 な 議 題
31.03.12	鶴川慶寿苑サンルーム	<ul style="list-style-type: none"> 辞任した評議員の後任の選任について 選任された評議員の任期について

(9) 入居検討委員会の開催状況

期日	会場	回	主 な 議 題
30.06.15	鶴川慶寿苑 サンルーム	第1回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について ・グループホームふきのとうの入居申込状況について
30.11.20	鶴川慶寿苑 癒しの間	第2回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について ・グループホームふきのとうの入居申込状況について
31.03.12	鶴川慶寿苑 癒しの間	第3回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について ・グループホームふきのとうの入居申込状況について

(10) 役員研修の実施状況

期日	研 修 内 容	参 加 者
30.09.03	平成30年度社会福祉法人ブロック研修会(札幌)	理事長、田中、石田、伊東、山口、光成

(11) ストレスチェックの実施

労働安全衛生法が平成26年6月30日改正され、従業員50人以上の事業所は、ストレスチェック制度が施行され、年1回以上の実施が必須となり、その結果は労働基準監督署へ提出しなければなりません。

株式会社EAP北海道と契約し、ストレスチェック、面接指導、カウンセリング（相談窓口）について職員のメンタルケアの一環として、行っています。

対象者は、週30時間以上の特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑の職員。

1. 実施状況

対象人数 53名 (男性12名、女性41名)

実施人数 35名 (男性 8名、女性27名)

実施率 66.0% (男性66.7%、女性65.9%)

2. 相談窓口の利用状況

平成30年度の利用実績はありません。

3 胆振東部鷗川慶寿苑事業報告

平成30年度は、大きな整備事業はありませんでしたが、計画に基づき一昨年12月の突風により破損した動物小屋の撤去をはじめ、発電機・車椅子・電動ベッド・センサーマット等の更新・整備を行いました。その一方で、北海道胆振東部地震による被害復旧に多額の費用と労力を要し、国の補助金制度を活用し取組んで参りましたが、年度内で全てを終了することができず、一部次年度へ繰り越しとなりました。早期復旧に向け全力で取り組んで参ります。

経営面においては、特養における人財不足は深刻な状況となっており、新規入所者の受入れが困難となり、稼働率の大幅な低下による収支状況が悪化しています。また、利用者の方々の平均介護度も4.1を超え重度化が進んでおり、入院者及び入院日数に増加傾向が見られます。その一方で、待機者は増加傾向にあり、人財確保による空きベッドの解消が急務となっています。

利用状況については、重度者が増加し、平均介護度も4.13と前年より0.29ポイント重くなりました。要介護度4、5の割合も75.8%と前年より8.30%上がっています。また、認知症高齢者自立度は、重度と言われるⅢa以上の方は66.13%と前年より2.70%下がっています。

具体的な利用実績については、特養入所で延べ23,139日と前年より3,440日の減となり、1日あたり63.39人、稼働率79.24%となり前年度の実績を大きく下回り介護保険制度はじまって以来、最低の結果となりました。入院日数1,151日に加え、年間退所者数は19人（死亡9人、長期入院10人）となり、人財不足により新規入所者の受入れが困難となり空きベッドが生じ、稼働率が大きく低下しました。

短期入所においても人財不足が影響し受入が困難となり681日の利用実績となり、前年度実績1,184日を大きく下回りました。

特養と合わせた利用実績合計としては、前年度より3,943日の減少となりました。人財不足による人件費の減少もありましたが、稼働率の低下が大きく影響し赤字となりました。

一方で、待機者は増加傾向にあることから、経営改善に向け人財確保を最重点課題として取組んで参ります。

(1) 事業内容報告

1. 各種会議の実施

管理職会議の開催	0回	サービス担当者会議の開催	160回
運営会議の開催	12回	調理員会議の開催	12回
全体会議の開催	11回	給食運営会議	12回
フロー会議の開催	1回	個別訓練計画会議の開催	160回
グループ会議開催	60回	地域ケア会議への出席(役場)	20回
リーダー会議	5回		

2. 各委員会活動の実施

安全衛生委員会	11回	広報・渉外委員会	9回
研修委員会	3回	アクティビティサービス推進委員会	5回
事故・虐待・拘束防止委員会	25回	排泄・褥瘡検討委員会	11回
感染症対策委員会	11回	医療的ケア対策推進委員会	11回

3. 施設内研修の実施

(1) 施設内研修

新任職員入職時研修	8回	12人	言葉使い（マナー）研修	3回	38人
新任職員学習研修会	9回	35人	感染症対策	2回	74人
幹部職員研修	12回	108人	介護知識、技術等研修	9回	274人
リスク・虐待予防	4回	153人	サービス自己評価	1回	32人
アクティビティー	0回	0人	介護保険、社会福祉法人制度	4回	150人

(2) 外部講師による施設内研修

体位変換研修 1回 23名 2/18 19:00～20:00

講師として、株式会社モルテン健康用品事業本部 小林幸稔^{ゆきとし}氏の協力をいただきました。

4. 職員個々の介護の見直しと介護力の向上

年度当初から、介護職員の人財不足に悩み、さらに傷病による長期休暇取得者の増加による職員不足もあり、シフトの変更、職員体制の見直し、他職種からの応援など、介護サービス提供体制に苦慮し、未だ改善されない状況が続いています。サービスの質の低下は否めず、職員の研修派遣も人財不足や胆振東部地震の震災の影響で困難となりました。サービスの質の低下を防ぐため、利用者の定員数を60名まで減らしてきましたが、現状の介護職員でどのようにサービスを維持していくことができるか、困難な課題が残る1年となりました。

5. 健康管理とリハビリ

要介護度の重度化が進み、体力低下により入院者が多い一年となりました。

震災時には、利用者の皆様誰も怪我をすることなく過ごす事が出来ましたが、厚生病院が震災対応に追われ、受診、入院の受け入れが一時止まってしまい、体調不良者を診てもらうことができませんでした。震災時の対応方法を検討していきます。

感染症においては、インフルエンザ、ノロウイルスなど感染することなく無事に1年を過ごす事が出来ました。

機能訓練においては、日々の訓練からADLの低下予防に努めました。また、レクリエーション活動を通して心身のリフレッシュも図れたと思います。

6. 給食の取り組み

毎月のお好み昼食、各行事のオードブルや季節に応じたメニューなど、利用者の楽しみとなるよう献立の作成、食事の提供を行ってきました。また、看取り期の方、体調不良の方には本人の嗜好や食べやすいものを提供するよう、他職種と連携しながら検討し、嗜好調査でも概ね利用者から高評価をいただくことができました。今後も衛生管理に注意し、少しでも個別に対応できる食事の工夫を凝らしていきたいと思えます。

なお、震災時には物流が止まり、非常食対応を余儀なくされましたが、課題として栄養価が低かったことを見直し、非常食内容の見直しを図りました。

7. 広報活動

(1) こんにちは	12回	(2) はまなす通信	2回
(3) 家族通信	12回	(4) そよ風通信	3か月に1回

(2) 管理職会議・運営会議開催報告

1. 管理職会議開催状況（震災により人事考課を行えず未実施）

2. 運営会議開催状況

期日	協議内容
30.04.06	研修（平成30年度介護報酬改定の主な事項、特別養護老人ホームの設置及び運営に関する基準）、5月行事予定について、意見・提言・連絡、給食運営会議
30.05.08	研修（特別養護老人ホームの入所状況に関する調査の結果について）、6月行事予定について、事業報告、決算報告、給食運営会議
30.06.05	研修（社会保障の費用の将来推計と居宅介護支援費の見直しについて）、7月行事予定について、盆踊り日程と内容について、意見・提言・連絡、給食運営会議
30.07.05	研修（経済財政運営と改革の基本方針2018原案について）、8月行事予定について、盆踊り、について、意見・提言・連絡、給食運営会議
30.08.03	研修（むかわ町生活支援ボランティアポイント事業について）、9月行事予定について、意見・提言・連絡、給食運営会議
30.09.29	研修（震災によりなし）、10月行事予定について、意見・提言・連絡、給食運営会議
30.10.05	研修（次期介護報酬改定に向けて）、11月の行事予定について、意見・提言・連絡、給食運営会議
30.11.02	研修（災害時に備えたライフライン等の点検）、12月行事予定について、クリスマス会について、意見・提言・連絡、給食運営会議
30.12.04	研修（被災者受け入れについて）、1月行事予定について、意見・提言・連絡、給食運営会議
31.01.08	研修（地震の被害状況と国庫補助に係る査定結果について）、2月行事予定について、サービス自己評価について、意見・提言・連絡、整備予算について、給食運営会議
31.02.05	研修（支援者の心のケアに係る啓発リーフレットの配布について）、3月行事予定について、新年度事業計画、予算について、意見・提言・連絡、給食運営会議
31.03.05	研修（消費税率引き上げに伴う介護報酬基本単位数の引き上げについて）、4月行事予定について、新年度事業計画、予算策定について（最終確認）、意見・提言・連絡、給食運営会議

(3) 外部研修会の参加状況報告

番号	期間	研修内容	人数
1	4月21日	摂食嚥下リハビリテーション（札幌市）	1
2	5月30日 5月31日	新任介護職員研修（札幌市）	1
3	7月01日 9月01日	喀痰吸引等研修講座（苫小牧市）	1
4	7月21日	介護報酬改定（栄養関連）に関する伝達研修会	1
5	7月26日	栄養・調理業務担当者研修会（苫小牧市）	1
6	7月27日	外国人介護人材受入研修（札幌市）	2
7	8月27日 8月28日	日胆地区老協研究大会（登別市）	2
8	8月28日 11月14日	認知症介護実践リーダー研修（札幌市）	1
9	10月09日	マイナビ就職セミナー見学	2
10	3月23日	富士データシステム主催特別セミナー	2
合計			14

(4) 防災体制と危機管理体制

	内容	ホットラインテスト	防災器具点検	備考
4月		月1回	自主点検	
5月		月1回	自主点検	
6月	避難訓練（夜間）	月1回	自主点検	消防署立入検査
7月		月1回	自主点検	
8月		月1回	自主点検	
9月		月1回	業者点検・自主点検	ボイラー保守点検
10月		月1回	自主点検	
11月		月1回	自主点検	
12月		月1回	自主点検	
1月		月1回	自主点検	
2月		月1回	自主点検	ボイラー保守点検
3月	災害時の避難訓練（2階への避難誘導） 避難訓練（日中）消火訓練	月1回	業者点検・自主点検	
備考	電気設備系点検		業者点検・2か月に1回（偶数月）	
	エレベーター点検		業者点検・3か月に1回（24H遠隔監視）	
	非常食の確保（保存水、おかゆ、味噌汁、魚缶詰等9食3日分）			
	★ 緊急対応マニュアルの活用。 ※ 災害時は、連絡網による連絡、家族、理事長へ連絡体制をとる。 ※ 夜間の急変時等のときは、看護師、医師、施設長、家族へ連絡体制をとる。 ※ 状況により災害協力協定に基づく支援要請を行う。（日胆地区老人福祉施設協議会、胆振東部3町社会福祉法人）			

(5) 苦情処理状況と事故発生状況

平成30年度は、苦情相談はありませんでした。事故発生状況につきましては、毎年骨折、打撲、誤薬の事故が発生しており、胆振総合振興局社会福祉課及び保険者へ事故報告書を提出しております。

具体的には骨折事故が4件発生しており、転倒・転落・皮膚剥離がそれぞれ20数件と多いのが特徴です。昨年より骨折事故が多いので、事故報告書並びにヒヤリ・ハットによる事故予防の検証を行うとともに、介護ミスを起こさないよう研修、検討を重ねていきます。

(6) 主な施設整備状況

整備日	整備・修繕内容	金額
H30.04	自家発電機 2 台	203,598
H30.04	フルリクライニング車椅子 5 台	340,000
H30.04	自走型フルリクライニング車椅子	120,000
H30.05	動物小屋撤去工事	746,820
H30.05	ベッド 3 台更新	866,052
H30.05	ナースコール呼び出しボタン+センサーマット 6 台	259,200
H30.12	デスクトップパソコン	139,000
合 計		2,674,670

※北海道胆振東部地震による被害総額は下記のとおりです。(平成30年度時点)

物品、備品の更新	金額	補助金
テレビ、冷蔵庫、食器棚、ソファー、机、書棚 など	861,668	850,000

修繕、整備事業	金額	補助金
仮設タンク設置工事並びに地下タンク検査	810,000	
浴室排水管修理一式	378,000	
重油タンク仮設工事一式	237,600	
仮設ガス配管工事	128,088	
厨房風除室出入口ハンガーレール大戸取付	99,360	※補助対象外
車庫・物置修繕工事	766,800	
屋外排水改修工事(下水道接続工事)	11,359,719	
屋外排水改修工事(下水道接続工事) ※固定資産計上	952,281	
車椅子入浴装置油圧ポンプ修理	89,640	
増築事務室沈下等改修工事	6,191,640	
合 計	21,013,128	15,894,000

(7) 利用者の構成とその状況

1. 在籍者

男性19名 女性40名 計59名

平成31年3月31日現在

胆振総合振興局管内					
むかわ町 52名		厚真町 1名		安平町 1名	
男	女	男	女	男	女
16	36	0	1	1	0

日高振興局管内							
平取町 1名		新ひだか町 1名		日高町 2名		浦河町 1名	
男	女	男	女	男	女	男	女
0	1	1	0	0	2	1	0

2. 年齢別状況

平成31年3月31日現在

区分	60～69	70～79	80～89	90～99	100以上	合計	平均年齢
男		2	14	3		19	87.6
女	1	7	12	16	4	40	85.3
合計	1	9	26	19	4	59	86.1

3. 在苑期間

平成31年3月31日現在

区分	6月未満	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10年以上	合計	平均期間
男	1	0	14	3	1	0	19	2年4か月
女	1	1	17	6	10	5	40	4年11か月
合計	2	1	31	9	11	5	59	4年1か月

4. 介護度別認知症高齢者日常生活自立度

平成31年3月31日現在

要介護度	なし	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	合計
要介護1			1				1
要介護2				1			1
要介護3	1	1	2	5	2		11
要介護4		1	7	8	4		20
要介護5			6	11	8	1	26
合計	1	2	16	25	14	1	59

5. 月別利用者状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

区分 月別	入所	退所			入院 外泊	入所者数	延利用日数
		死亡退所	長期入院	家庭へ			
平成30年4月	2	1	1		103	75	2,095
5月	3	1	2		66	73	2,167
6月	1	0	1		79	70	1,993
7月	0	0	0		130	69	2,009
8月	2	0	2		181	70	1,958
9月	2	2	0		58	68	1,966
10月	4	2	2		84	66	1,931
11月	0	0	0		50	62	1,810
12月	0	0	0		77	64	1,888
平成31年1月	0	0	0		82	64	1,902
2月	2	1	1		107	64	1,667
3月	3	2	1		134	62	1,753
合計	19	9	10	0	1,151	807	23,139

一日実利用者数63.39人(79.24%)

6. 利用者の要介護度

平成31年3月31日現在

要介護度	男性	女性	計
要介護1	1	0	1
要介護2	0	1	1
要介護3	2	9	11
要介護4	9	11	20
要介護5	7	19	26
合計	19	40	59

(8) 在宅サービスの状況

1. 短期入所生活介護

平成30年4月1日～平成31年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	人数	6	5	5	5	4	1	2	2	3	3	3	3	42
	延べ日数	68	52	35	40	31	8	18	18	21	41	44	34	410
要介護 2	人数	1	1	2	1	0	0	1	1	1	2	2	1	13
	延べ日数	5	4	12	5	0	0	9	9	9	24	25	10	112
要介護 3	人数	1	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	延べ日数	2	19	9	5	4	0	0	0	0	0	0	0	39
要介護 4	人数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3
	延べ日数	0	0	0	0	0	0	10	9	0	0	0	10	29
要介護 5	人数	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	延べ日数	18	0	7	2	9	4	7	4	10	10	10	10	91
合計	人数	9	8	10	8	6	2	5	5	5	6	6	6	76
	延べ日数	93	75	63	52	44	12	44	40	40	75	79	64	681

一日実利用者数1.86人(18.65%)

2. 介護予防短期入所生活介護

平成30年4月1日～平成31年3月31日

利用実績なし。

3. むかわ町高齢者等生活支援短期入所生活介護

平成30年4月1日～平成31年3月31日

利用実績なし。

(9) ボランティアの受入状況

		団体名	活動内容	回数	人数	合計
町内	団体	駒場町内会	防災訓練	1	12	12
		纏保存会	出初め式纏振り	1	4	4
		支え合い共に生きる会・個人	ふれあい喫茶	4	6~9	29
		鵜川民謡同好会	慰問	1	10	10
		ボランティアさつき会	盆踊り協力	1	3	3
		鵜川慶寿苑家族会	花壇整備、盆踊り模擬店協力	2	20	20
		カネダイ大野商店	歌謡ショー	1	1	1
		むかわ町商工会女性部	ソーメン寄贈	1	3	3
		鵜川ライオンズクラブ	寄附	3	4	4
		天理教鵜川分会	窓清掃	1	13	13
		認定こども園	歌、踊り	1	34	34
	個人	吉田紀晃氏	華道指導	12	1~2	15
		田中ハルエ氏、佐々木チエ子氏	書道教室	17	1~2	28
		伊東八百子氏	傾聴ボランティア	10	1	10
		マジシャン坂本一魔氏	マジックショー	1	2	2
町外	団体	ビハーラ鵜川	彼岸法要、法話会、お参り	7	1	7
		苫小牧歯科健康診断協会	口腔ケア	3	1	3
合 計				67	117~ 122	198

(10) 施設見学・実習生等の受入と福祉教育

将来、福祉の仕事に携わる人財を育てるために、また、施設、福祉への理解を醸成するためにも実習生の受け入れ及び介護等体験の受け入れを積極的に取り組んで来ました。

*施設研修

研修名	学校	期 間	受入数	合計日数	内 容
初任者研修実習受入	三幸	30.07.17	1名	1日	施設実習

*高校

学 校 名	学年	期 間	受入数	合計日数	内 容
鵜川高校	2年	31.02.14~31.02.15	3名	2日	インターンシップ

*中学校

学 校 名	学年	期 間	受入数	合計日数	内 容
鵜川中学校	3年	30.10.30	27名	1日	清掃、交流
	2年	30.12.06	5名	1日	職業体験

4 むかわ町高齢者生活交流センター「ひだまりの里」事業報告

(1) むかわ町高齢者グループホームふきのとう事業報告

平成30年度の利用実績は、利用者さんの入院が無く、外泊が6日間ありましたが、稼働率99.82%となり、目標としていた稼働率98%を達成することができました。利用者さんにとっては入退院、入退居も無く落ち着いた1年となりました。

一方で、昨年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、直後に北海道全域に及ぶ停電、度重なる余震により被害が拡大しましたが、利用者の方々に人的被害が無かったことは不幸中の幸いでした。ホーム内の扉、洗濯機、乾燥機等の家電製品が破損したのに加え、浄化槽が全廃するなどの被害がありました。修繕、備品・設備の更新等については、むかわ町にて対応していただきました。

人財不足の中、10月には管理者、看護師の退職により人員体制が悪化し、特養からの人事異動、応援職員の派遣、新規採用に加え、スタッフ一人ひとりの努力と工夫により、厳しい状況を乗り越え利用者の方々の生活を支えることができました。

経営面においては、稼働率の上昇による収入増に加え、人財不足による人件費の減により、当期資金収支差額において大幅な黒字が見込まれたため、開設時に特養から繰り入れられた資金について、返済目的として予定以上の金額を返還することができました。また、整備関係では、むかわ町予算事業にて、AEDを設置しました。

職員の資質向上については、人財不足と震災の影響もあり外部研修へ職員を派遣することができませんでしたが、平成30年度介護支援専門員実務研修受講試験に1名が合格し、無事実務研修を修了しました。次年度は、計画的に外部研修に参加できるよう体制を整えていくとともに、内部研修についても充実を図ります。

1. 在籍利用者

平成31年3月31日現在

区分	～69	70～79	80～89	90～99	合計	平均年齢
男	0	0	0	0	0	0
女	0	1	4	4	9	88.6
合計	0	1	4	4	9	88.6

2. 入居期間調

平成31年3月31日現在

区分	1年未満	1年～3年	3年～5年	5年～	合計	平均期間
男	0	0	0	0	0	0月
女	0	5	3	1	9	3年2月
合計	0	5	3	1	9	3年2月

3. 介護度別認知症高齢者日常生活自立度

平成31年3月31日現在

要介護度	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	合計
要介護1	0	0	2	0	0	2
要介護2	0	2	2	1	0	5
要介護3	0	0	1	1	0	2
要介護4	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0
合計	0	2	5	2	0	9

4. 月別利用者状況調

平成30年4月1日～平成31年3月31日

区分 月別	入居	退居			入院 外泊	利用者数	延利用日数
		他施設 慶寿苑	入院	家庭			
平成30年4月	0				0	9	270
5月	0				0	9	279
6月	0				0	9	270
7月	0				3	9	276
8月	0				2	9	277
9月	0				0	9	270
10月	0				0	9	279
11月	0				0	9	270
12月	0				0	9	279
平成31年1月	0				1	9	278
2月	0				0	9	252
3月	0				0	9	279
合計	0	0	0	0	6	108	3,279

一日実利用者数8.98(99.82%)

5. 利用者の要介護度調

平成31年3月31日現在

要介護度	男性	女性	計
要介護1	0	2	2
要介護2	0	5	5
要介護3	0	2	2
要介護4	0	0	0
要介護5	0	0	0
合計	0	9	9

6. 職員の資質向上

(1) 職員会議・内部研修の状況

	ケア会議 (毎月上旬)	スタッフ会議 (毎月中旬～下旬)
4月	組織図、就業規則、個人情報保護、人事考課、職員倫理、法令順守、事業計画・予算、ケアプラン、モニタリング、今月の行事確認、その他	身体拘束廃止に関する指針、5月の行事予定、6月からの勤務表について、セリウスソフト水の使用方法の検討、その他
5月	ケアプラン、モニタリング、今月の行事確認、その他	平成29年度事業報告・収支報告、AED操作方法について、6月の行事予定、その他
6月	ケアプラン、モニタリング、今月の行事確認、その他	食中毒・食品衛生マニュアルについて、8月からの勤務表について、7月行事予定、その他
7月	ケアプラン、モニタリング、今月の行事確認、その他	接遇マナー、身体拘束廃止について、自己評価について(配布)、8月9月の行事予定
8月	慶弔見舞金規程、男女雇用均等法、育児・介護休業法及びパートタイム労働法、ハラスメント行為防止の指針、ケアプラン、モニタリング、今月の行事確認、その他	ケア会議と同日開催・同一内容
9月	ケアプラン、モニタリング、今月の行事確認、その他	地震発生から2週間、今後の対応備えが必要なこと、その他
10月	管理者の退職に伴う業務の引継ぎ分担、ケアプラン、モニタリング、今月の行事確認、その他	中止
11月	ケアプラン、モニタリング、今月の行事確認、その他、身体拘束廃止に関する指針	ノロウイルス、インフルエンザ、手指消毒について(感染委員より)、12月行事予定について、その他
12月	北海道胆振東部地震により利用者さんへの義援金配分申請について、ケアプラン、モニタリング、今月の行事確認、その他	1月行事予定について、その他
1月	年頭にあたって、ケアプラン、モニタリング、今月の行事確認、特養からの支援体制、その他	認知症の人の世界と介護、2月行事予定について、その他
2月	働き方改革について、心のケアに係る啓発リーフレットについて	平成31年度事業計画の検討、3月行事予定、その他
3月	10月からの消費税率改定に伴う介護報酬の臨時改定、利用料金等の改定、諸規程の改正についてケアプラン、モニタリング、今月の行事確認、その他	重要事項説明書の改正について、個人通信について、ふきのとう便り・こんにちはの担当割について、4月行事予定、その他

(2) 外部研修の参加状況

番号	期間	研修内容	参加人数
1	2月20日～3月29日	平成30年度介護支援専門員実務研修(札幌) ・前期集合研修:2月20日～2月22日 ・居宅介護支援事業所(むかわ町鶴川厚生居宅介護支援事業所)での実習:3月12日、13日、18日 ・後期集合研修:3月26日～3月29日	1名
合計			1名

7. 健康・衛生管理

- (1)利用者一人ひとりの健康状態について把握し、疾病の早期発見・早期治療に努めて参りました。
この1年間、入院者は一人もなく、また、震災の影響も見られず健康に暮らしていただきました。
- (2)看護師が年度途中で退職しましたが、利用者の体調変化には十分注意し、早めの受診により、重篤化することなくホームで対応することができました。定期受診は、午後の予約診療により効率よく対応することができました。
- (3)利用者、職員、来訪者に対し、手洗いやうがいの励行を行ってきました。広報誌や掲示で感染症について、周知・徹底を図り、食中毒やノロウィルス・インフルエンザ等の感染防止に努めて参りました。利用者・職員ともに罹患者を出すことなく「来訪者様へのお願い」期間を無事終えることができました。
- (4)施設内外の整理整頓として、敷地内の草刈りを定期的に行い屋外環境美化に努めて参りました。
また、居室の清潔保持など住環境の整備や利用者の身だしなみへの心遣いに努めて参りました。

8. 危機管理体制

	内容	ホットラインテスト	備考
4月		自主点検	自主点検
5月	消防訓練（日中）	自主点検	自主点検
6月			消防署立入検査、業者点検
7月		自主点検	自主点検
9月			6日北海道胆振東部地震
11月	消防訓練（日中）	自主点検	夜間を想定した訓練を日中に実施
12月			業者点検、
1月			消防団纏披露
備考	★消防用設備防災点検（6月、12月） ★緊急対応・防火マニュアルの見直し、一部改正 ※災害時は、連絡網による連絡、家族、管理者へ連絡体制をとる。 ※夜間の急変時等のときは、管理者、協力医療機関、家族へ連絡体制をとる。 ※胆振東部3町 社会福祉法人間で協力協定締結。		

※自主点検としてのホットラインテストを毎月行うよう次年度の課題とします。

9. ご家族・地域との連携

(1) 運営推進会議の開催状況

期日	協議内容
30.06.20	運営状況について、平成30年度事業計画・収支予算について、平成29年度事業報告並びに決算報告について、運営推進介護の日程について、意見・提言・連絡。
30.08.21	運営状況について、身体拘束廃止について、夜間を想定した消防訓練について
30.11.26	管理者の変更と職員体制について、運営状況について、胆振東部地震による被害状況について、クリスマス会について
30.12.18	ひまわり保育園、こごみ荘との交流行事としてのクリスマス会（園児のお遊戯見学）
31.03.16	委員の変更について、現在の職員体制について、運営状況について、入居状況、待機者状況について

(2) 家族懇談会開催

- ※平成30年5月26日 5家族出席 利用料金の改定及びおむつの利用料金の変更について
- ※ふきのとう敬老会は、9月6日の地震の影響により中止させていただきました。

(3) ボランティア等来訪者の状況

	年月日	内容	備考
1	30.09.16	見守りボランティア	1名
2	30.09.18	散髪ボランティア	1名
3	30.10.10	手品ボランティア	1名
4	30.12.11	そば打ち	1名
合計			4名

※書道（4月、6月、8月、10月、12月、2月） 6回

※紙芝居（4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、12月、2月） 9回

(4) 地域交流として

- ※震災により鶴川地区総合文化祭が中止となったことから、ふきのとう文化祭として、ホーム内に利用者さんの作品を展示しました。
- ※外部からのボランティア活動として、書道、紙芝居が定期的で開催されるようになり、利用者さんは毎月楽しみに待っております。

10. 広報活動について

- ①ふきのとう通信 年12回
- ②個人通信 年4回（3カ月に1回）

11. 相談・苦情の状況

平成30年度は、相談、苦情はありませんでした。また、意見箱にもご意見・要望等はありませんでした。

(2) 高齢者共同生活住宅ごみ荘事業報告

昨年度初めは、入居希望者がなく2名空床でスタートしました。入居待機者も見つからないまま、9月の胆振東部地震が発生しました。厨房設備の損傷により食事提供ができなくなり、入居されていた皆様は、一時避難所生活や炊き出しを受け生活されましたが、怪我もなく無事に震災を乗り切る事が出来ました。建物や浄化槽、外構等も震災により破損しましたが、むかわ町に対応していただき、一部修繕を終える事が出来ました。

また、震災以降、被災を受けた方々の入居希望が相次ぎ、すぐに満床となりました。

交流広場（体育館）については、町民体育館が震災により使用できないため、むかわ町教育委員会から交流広場使用の依頼を受け、各スポーツ団体が定期的に使用しています。

以前からごみ荘で、ディサービス、配食サービスの調理を行っており、食事提供に係る電気、水道料金をごみ荘が負担している状況となっており、かねてからむかわ町と協議してきましたが、今回、光熱水費の負担について明確化を図り、且つ入退居に伴う空床期間についても補填していただけることとなり、赤字を軽減することができました。

1. 年齢別状況

平成31年3月31日現在

区分	むかわ町	70～79	80～89	90～99	合計	平均年齢
男	4	1	3		4	81.7
女	15	0	12	3	15	86.4
合計	19	1	15	3	19	85.4

2. 入居期間

平成31年3月31日現在

区分	6月未満	1年未満	1～3年	3～5年	5年以上	合計	平均期間
男	1		1	2		4	2年4か月
女	1	3	6	1	4	15	3年3か月
合計	2	3	7	3	4	19	3年1か月

3. 入居者の要介護度

平成31年3月31日現在

要介護度	男性	女性	計
自立	4	3	7
要支援1		3	3
要支援2		2	2
要介護1		5	5
要介護2		2	2
要介護3			0
要介護4			0
要介護5			0
合計	4	15	19

4. 月別入居者状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

区分 月別	入居	退居			入院 外泊等	入居者数	延入居日数
		他施設	家庭	入院			
平成30年4月	0			1	34	18	536
5月	0				21	18	527
6月	1				15	19	541
7月	0				25	19	564
8月	1		1		11	19	523
9月	2	1			158	20	442
10月	0				9	20	611
11月	1	1			15	20	585
12月	0	1			7	19	613
平成31年1月	1				8	20	600
2月	0				40	20	520
3月	0			1	97	20	523
合計	6	3	1	2	440	232	6,585

一日実利用者数18.04人(90.21%)

5. 移動販売等

- ①船山商店(毎週木曜日)
- ②苫小牧ヤクルト(毎週月曜日)

6. ボランティア等の受入状況

期日	団体名	内容	人数
H30.7.12	ひまわり保育園	踊り	9名
H30.8.28	鶴川中央小学校ボランティア委員会	折り紙で交流	12名
H31.1.15	ねたきり予防教室	体操等	2名
合計			23名

7. 交流広場

交流広場は地域の方々及び各種団体等に定期的且つ有効に活用されています。

(1) 定期的利用

- 田浦スポーツクラブ(毎週金曜日夜間)
- 沼ノ端ミニバスケット
- むかわジュニアファイターズ、柔道、空手、剣道
- こごみ荘入居者ウォーキング

(2) その他

- 田浦自治会子供会(5月)